



広島県立大崎海星高等学校

学校紹介パンフレット

『輝志海星』

広島県立大崎海星高等学校

〒725-0301 広島県豊田郡大崎上島町中野3989-1

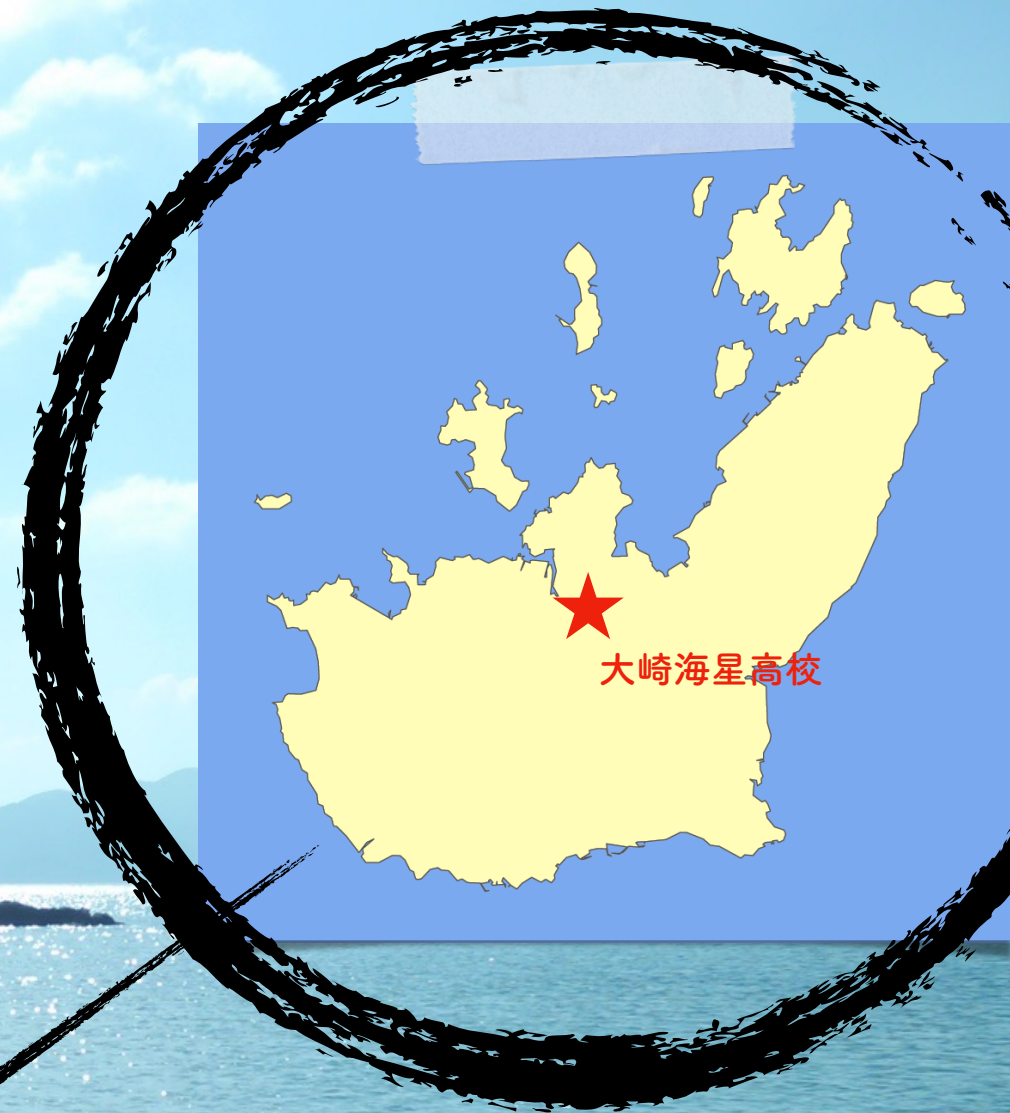
TEL 0846-64-3535 FAX 0846-64-3537

MAIL osakikaisei-h@hiroshima-c.ed.jp

大崎海星高校

5つの特長

大崎上島



1 瀬戸内海の離島

瀬戸内海の「匠」の島「大崎上島」

大崎海星高校のある「大崎上島」は瀬戸内海の中央に位置する広島県の離島です。本土とは橋で繋がっていないため、フェリーや高速船であたり訪れる島です。本土からフェリーで通う人も多く、毎日の生活の中に、穏やかな瀬戸内海を眺める風景があります。離島ならではの伝統や産業があり、温暖な気候を利用した農業があります。それぞれに時を重ねた技があります。大崎上島は「匠」のヒントが詰まった島です。流れゆく時代の潮目を読む遺伝子が大崎上島には存在します。これまでに、時代の潮目を読む政治家や経済の潮目を読み成功した起業家がいる島です。

2 大崎上島学

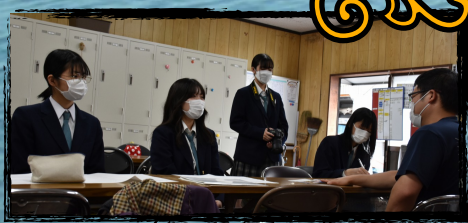
時代の航界士を目指す 地域で学ぶ大崎上島学

本校の「大崎上島学」は、島の全てを題材とした課題発見・解決型のキャリア教育です。1年生では、島の伝統文化や地域の取り組みに触れることを通し自分自身を見つめ、自分自身の生き方・在り方を考える「羅針盤学」、2年生では、島の仕事や人と関わることを通し、時代にあった技術や知恵の活かし方を知る「潮目学」、3年生では、島を教材としてこれまで学んできたことを基に、プレゼンテーション、ファシリテーション、チームビルディングなどのスキルを高める「航界学」と定めて、段階的に学びを深めていきます。今後、加速することが予想される少子高齢化というおきな課題に対して、時代の変化を正しく理解し、世の中における自分の位置を見定めて力強く生き抜いていく資質や能力の育成を目指しています。



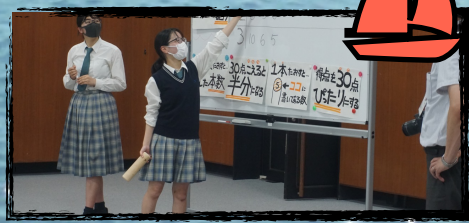
自分を読む「羅針盤学」

自分自身を見つめ、自分自身の生き方・在り方を考える。



時代を読む「潮目学」

時代に合った技術や知恵の活かし方を知る。



伝え、巻き込む「航界学」

プレゼンテーション、ファシリテーション、チームビルディングなどのスキルを高める。

3公営塾「神峰学舎」 かんのみね がくしゃ

公営塾が生徒一人ひとりをサポート

「神峰学舎」は大崎海星高校内に開設された公営塾です。進路実現に向けてカリキュラムなどを記したカルテを作成し、個別学習やeラーニングで指導します。eラーニングではスタディサプリ等を利用し学習をします。また、定期開催される「夢☆ラボ」では、自己理解と進路学習をします。その他、総合型選抜・推薦入試の対策講座も行っています。生徒の一人ひとりが自主的に学習できるようサポートします。



4夢☆ラボ

自己理解を深め 進路や将来を考える

「神峰学舎」で定期的に行われる「夢☆ラボ」は、課題発見・解決のための実践的な方法を学ぶ「大崎上島学」と連動し、自己理解を深め、社会の現状や課題を知ることで、生徒それぞれが自分の進路や将来について考えていきます。



5校舎と寮



平成27年12月に竣工した校舎は、島の多くの職人や建築業舎が携わり、地域の人たちに愛される地域のシンボルとなる学校づくりを目指して建設されました。管理棟に使用されている木材は、全て広島県内から集められ、地元の職人たちが新しい技術を在来工法で実現する方法を学び、挑み、そして生徒の学校生活を想いながら建てられました。また、県外などから入学する生徒の住まいとして、平成30年4月に、学生寮である教育寮コンパスが建てられました。親元を離れた生徒が寮生活を通じ、学校だけでは学べないような経験ができるよう、毎日の生活をサポートしていきます。

伝統

大崎上島の伝統文化である「權伝馬」船を校内に搬入し、展示しています。



有志が集まり「權伝馬」船を修繕し、当日の航海を迎えます。生徒みんなで、この船を港まで運びます。



「旅する權伝馬」では、「權伝馬」船で大崎上島を一周します。当日は、天候に負けることなく最後まで頑張ることができ、最高の一日となりました。



教育寮コンパス

新3年生 清水 胡寿 (東京都出身)

「私にとって寮生は友達でもあり、家族みたいな存在です。学年の壁なんてものはほとんど無いし全体的に仲がいいけど、ときには衝突もあります。でも、それぞれ異なった環境で育っているからこそ、沢山の価値観が混在しているのは当たり前。意見がぶつかるのも当たり前。その中でどうやって自分の主張をしつつ相手を尊重できるかを学び人間的に成長する、これこそ寮の最大の魅力であると思います。」



新1年生 前井 志優 (東京都出身)

「自分がすごく印象に残っていることは、コンパス寮のウェルカムな雰囲気です。入寮当初あまり寮に馴染めていなかった自分を、先輩が、快くゲームや色々な活動に誘ってくれ、その後すぐに寮に慣れることができたのを覚えています。」

教育寮コンパス 入寮式



魅力ある部活

和太鼓部 谷口 夢羽蘭 (大崎上島中学校卒業)

和太鼓の魅力

私が思う和太鼓の魅力、それは演奏した後、お客さんに拍手を頂くこと、そして仲間との動きが揃った瞬間に生まれるものだと思います。この、大崎海星高校和太鼓部は、地域で活動されている大崎風太鼓保存会の方々に御指導いただき、長年続く伝統ある部活動です。

1年間を通し沢山の行事で演奏する機会があります。文化祭や体育祭はもちろん、地域で開催されるお祭りや福祉施設などでも演奏させていただいています。



私は幼い頃から地域のお祭りなどで風太鼓保存会の方々や大崎海星高校和太鼓部の先輩方の迫力ある演奏を目にして、「自分もこんな風に人の気持ちを動かせる演奏をしたい」と憧れを持っていました。しかし、高校から始めたということもあり自分に出来るか不安でした。

入部から2年数か月、これまで楽しかったこと、心が折れそうになったこと沢山ありました。最近では「海星」という曲がちゃんと演奏できるかプレッシャーに負けそうにもなりました。ですが、その度に成長できたという実感が今の私の大きな自信となって支えてくれています。

挑戦してみる力が初めの第一歩です。皆さんも是非ワクワクの中で成長していける時間を過ごしてみたいかがですか。



ソーラン部 谷本 梨佳 (大崎上島中学校卒業)

ソーランの魅力

私が思うソーラン部の魅力はかっこよさです。ここで言うかっこよさとは、踊りや衣装はもちろんですが、それよりも一人一人の努力です。

私は1年生の時に先輩に誘われて入部しました。私はソーラン節を踊ったことがなかったので、ソーラン部に入るまでは「踊り自体や衣装に対して」かっこいいと思っていました。しかし、実際に踊ってみると、想像の何倍も大変で驚きました。客席から動きや表情を見ていてもあまりしんどそうには見えなかったのが、実際に踊ってみて初めて先輩方の努力に気づきました。



しんどくてもそんなそぶりは全く見せず、大きな声を出して踊り切るのには本当に大変なことです。舞台上でのソーラン部のかっこよさは一人一人の努力があつてのことなんだと実感しました。

一度しかない高校生活、勉強も大切ですが部活動というものにも目を向けてみる、思い出に残すのもいいんじゃないかなと思います。ソーランの演舞を見て、またこれを読んで少しでもソーラン部に興味をもってもらえると嬉しく思います。ここまで読んでいただきありがとうございました。

